

一般会計予算決算常任委員会審査日程

日時 平成29年12月19日（火）
総合計画審査特別委員会終了後
場所 議場

付議事項 議案第83号 平成29年度山陽小野田市一般会計補正予算

（第5回）について

1 分科会長報告・質疑

(1) 総務文教分科会

(2) 民生福祉分科会

(3) 産業建設分科会

2 討論・採決

■ 分科会長報告概要 ■

平成 29 年 12 月定例会	
一般会計総務文教分科会	
議 案 件 名	議案第 83 号 平成 29 年度山陽小野田市一般会計補正予算 (第 5 回) について
担 任 事 項	総務文教分科会担任事項
概 要	今回の補正の主なものは、歳入では市税、市債等について、歳出では総務費における財政調整基金積立金、教育費における新入学児童生徒学用品費及び現代ガラス展実行委員会負担金に係る債務負担行為の設定等についてである。
論点又は質疑 によって明らか になった事項 など	<p>【歳入】</p> <p>○ 市税</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市民税個人割 4,000 万円の増額 <p style="margin-left: 20px;">県内景気は、緩やかな回復基調にあり、個人所得の増加が期待できると判断し、当初予算において、前年度比 3,858 万 3,000 円、1.5%の増収を見込んだが、当初の見込みよりも、納税義務者数、個人所得ともに伸びてきたことから増額</p> <p style="margin-left: 20px;">「景気の緩やかな回復基調、個人所得の増加というが、その根拠は」との質問に「日銀下関支店が出している経済報告によるものである」との答弁</p> ・ 市民税法人割 4,400 万円の増額 <p style="margin-left: 20px;">当初予算において、前年度比 2 億 3,446 万 2,000 円、25.8%の減収を見込んでいたが、一部の企業で業績が好調であったことから増額</p> <p style="margin-left: 20px;">「業績が好調であったのは、どのような企業か」との質問に「製造業関係で特に 2 社に収益の伸びが見られた」との答弁</p> ・ 固定資産税 5,200 万円の増額

企業から修正申告があったため増額

- ・市たばこ税 2,900 万円減額

当初予算において前年度比 1,875 万 1,000 円、3.8% 減額したが、本年 10 月末までの実績に 11 月以降の見込みを加味して、更なる減額が必要となったことから減額

○ 市債

- ・大学校舎整備事業債 7,940 万円増額

学校教育施設等整備事業債（75%）を 2 億 9,060 万円減額し、合併特例債（95%）を 3 億 7,000 万円増額する地方債の充当替えを行ったため

- ・都市再生整備事業債 810 万円増額

社会資本整備総合交付金の額の決定により減額となった財源のうち、810 万円を都市再生整備事業債に振り替えたため

【歳出】

○ 人件費全般 人事異動に伴う調整によるもの

- ・一般会計全体 1,737 万 9,000 円の減額

- ・給料 4,292 万 7,000 円の減額

減額理由：普通退職や育児休業等に係る給料の減額等

- ・職員手当等 3,062 万 9,000 円の増額

増額理由：早期退職者分の退職手当の増額と時間外勤務手当の増額

- ・共済費 592 万 9,000 円の増額

増額理由：共済組合負担金の負担率の変動による

- ・賃金 1,098 万 6,000 円の減額

減額理由：臨時職員の勤務実績から

○ 総務費

- ・ 財政調整基金積立金 2億1,000万円の増額

平成28年度一般会計決算における歳計剰余金4億805万4,000円の処分で、財政調整基金に積み立て、補正後の残高は33億5,333万4,000円

○ 教育費

- ・ 小学校図書購入費 35万8,000円の増額

- ・ 中学校図書購入費 16万2,000円の増額

市民からの寄附金2万円は小学校2校に1万円ずつ、企業からの寄附25万円と代表取締役からの寄附25万円は、小学校12校と松原分校に2万6,000円ずつ、中学校6校に2万7,000円ずつ、それぞれ図書購入費として充てている

- ・ 小学校就学援助費 375万6,000円の増額

- ・ 中学校就学援助費 617万4,000円の増額

新入学児童生徒学用品費の支給時期を入学後の7月10日から入学前の3月中旬に前倒しするため

- ・ 事務局費 108万4,000円の減額

就学援助費の一つである新入学児童生徒学用品費の前倒し支給に伴い、入学資金貸付金全額を減額

「就学援助の見込み予定者は」との質問に「小学生135人、中学生が136人を見込んでいる」との答弁

○ 債務負担行為補正

- ・ 現代ガラス展実行委員会負担金 410万円

- ・ 平成30年（来年）7月の開催に向け準備開始

- ・ 「ガラス展」のポスター作成委託契約などに着手

- ・ 平成29年度の「現代ガラス展実行委員会」負担金300万円と合わせ、市負担金は710万円

■分科会長報告概要■

平成 29 年 12 月 定例会	
一般会計民生福祉分科会	
議 案 件 名	議案第 83 号 平成 29 年度山陽小野田市一般会計補正予算 (第 5 回) について
担 任 事 項	民生福祉分科会担任事項
概 要	今回の補正は、人事異動に伴う人件費の調整、決算を見込んでの委託料や負担金等の増減、国民健康保険及び介護保険特別会計繰出金の減額などによるもの
論点又は質疑 によって明らか になった事項 など	<p>【歳出】</p> <p>○総務費</p> <p>3 項 戸籍住民基本台帳費のシステム改修委託料 344 万 6,000 円は、マイナンバーカードや住民票の氏名欄に旧氏を併記できるよう関係法令の改正が行われることに対応するため、「旧氏表記の希望があったのか」との質問に「窓口にはなかったが、氏名変更の手続が若干便利になるのではないか」との答弁</p> <p>○民生費</p> <p>1 項 社会福祉費の扶助費 1 億 1,150 万円増額の主な理由は、就労系サービスや放課後等デイサービスで利用人数、利用日数とも年々増加傾向にあるため</p> <p>2 項 児童福祉費のひとり親家庭高等職業訓練促進給付金等給付金 400 万円の減額について「実績は」との質問に「平成 28 年度が 12 件、1,099 万 9,000 円の実績で、今年度現時点が 7 件、904 万 4,000 円の決算見込みである」との答弁</p> <p>保育所費の設計委託料 185 万 7,000 円の減額は、山陽地区保育所整備事業基本設計委託の入札減によるもので「基本設計はいつ頃できるとの見込みか」との質問に「事業の委</p>

託期間は平成 30 年 6 月 29 日まで」との答弁

児童クラブ施設整備補助金 1,260 万円の増額は、厚狭児童クラブで真珠保育園が新たに事業を行うに当たり、補助金を交付するもので「厚狭小学校内にある児童クラブとの兼ね合いは」との質問に「現在、1 年生から 3 年生までの受入れをしており、11 月現在で 19 人の待機が発生している。この度の整備で約 40 人の受入れが可能となり、待機がなくなるのではと考えているが、6 年生までの受入れの課題は残ると分析している」との答弁

○衛生費

1 項 保健衛生費の産科医分娩手当補助金 103 万円の増額は、医療機関に補助するもので、産科医 1 名の増により、分娩件数の見込みを 261 件から 364 件とするため

○債務負担行為補正

中央福祉センター指定管理者委託料について、平成 30 年度から 32 年度までの合計 4,028 万 7,000 円

斎場指定管理者委託料について、平成 30 年度及び 31 年度で合計 3,344 万 9,000 円

■ 分科会長報告概要 ■

	平成 29 年 12 月 定例会
	一般会計産業建設分科会
議 案 件 名	議案第 83 号 平成 29 年度山陽小野田市一般会計補正予算 (第 5 回) について
担 任 事 項	産業建設分科会担任事項
概 要	今回の補正は、決算を見込んでの人件費等の調整のほか、特別会計の 28 年度決算を受けた繰出金の補正、指定管理料の債務負担行為の設定が主である。
論点又は質疑 によって明らか になった事項 など	<p>【歳出】</p> <p>○ 農林水産業費</p> <p>1 項農業費、2 目農業総務費、28 節地方卸売市場事業特別会計繰出金 14 万円減額は平成 28 年度山陽小野田市地方卸売市場事業特別会計の決算に伴うもの。</p> <p>4 目農地総務費、28 節農業集落排水事業特別会計繰出金 105 万円の増額は福田地区農業集落排水処理施設の修繕に伴うもの。</p> <p>○ 土木費</p> <p>5 項都市計画費、1 目都市計画総務費、28 節下水道事業特別会計繰出金 727 万 8,000 円の減額は、人件費の増額と修繕料の増額に伴い、下水道管理費等の事業費に係る繰出金を 1,432 万 2,000 円増額し、人件費の減額と社会資本整備総合交付金の確定に伴い、下水道建設費に係る繰出金を 2,160 万円減額することによるもの。同じく 28 節駐車場事業特別会計繰出金 207 万 9,000 円の減額は、平成 28 年度決算に伴い、繰越金が 207 万 9,000 円増額となったことによるもの。</p> <p>5 目都市再生整備事業費、13 節委託料 184 万円の減額は</p>

小野田駅前地区都市再生整備計画事業において今年度、購入予定の公園等の事業用地についての建物等調査算定業務委託が完了し、委託料が確定したことによるもの。なお、財源については国庫支出金 1,084 万円を減額し、不足する 900 万円のうち市債を 810 万円、一般財源を 90 万円増額補正するもの。国庫補助金の減額は、小野田駅前地区都市再生整備計画事業の今年度の交付金内示額が要望額の 80%程度で 3,840 万円になったことと、委託料の確定に伴う 73 万 6,000 円を減額したことによるもの。この事業は平成 32 年度までの 5 か年計画の事業で、2 年目である。関係者は本事業に協力的であり、現在交渉中の事業用地については年度内に契約手続を完了することが必要である。本事業は総事業費に対する交付金が事業計画期間内において調整可能な事業であり、今年度の不足分は来年度の事業費に対する交付金の増額で調整したいとのこと。

「小野田駅前都市再生整備事業で区域内に所有者等が不明の土地、建物はあるか」との質問に「所有者が不明な土地等はない」との答弁。

「都市再生整備事業費の委託料 184 万円は入札減と捉えてよいか」との質問に「入札による差額である」との答弁。

○ 債務負担行為

小野田北部地区都市公園施設指定管理者委託料は、平成 30 年度から 32 年度までの 3 年間で限度額は 8,891 万 2,000 円で、限度額は指定管理料 1 年間の税抜き価格を 2,719 万円とし、平成 30 年 4 月から 31 年 9 月までは税率を 8%、平成 31 年 10 月から 33 年 3 月までは税率 10%で算出した。なお、指定管理者候補は公益社団法人山陽小野田市シルバー人材センターである。

小野田南部地区都市公園他施設指定管理者委託料は、平

成 30 年度から 32 年度までの 3 年間で限度額は 1 億 1,850 万 9,000 円で、限度額については北部地区と同様の算出方法をとった。なお、指定管理者候補は鳴田工業株式会社である。

山陽地区都市公園他施設指定管理者委託料は、平成 30 年度から 32 年度までの 3 年間で限度額は 4,035 万 2,000 円で、限度額については前述の 2 件と同様に算出した。なお、指定管理者候補は公益社団法人山陽小野田市シルバー人材センターである。